

# JAITI 51

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL [jaiti@janis.or.jp](mailto:jaiti@janis.or.jp)

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発 行 公益財団法人 日本農業研修場協力団  
事 務 所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5  
TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

## 今日のジャイチ

国内では、東日本大震災の恐怖が冷めやらぬうちに、この度は熊本地方を震源とした大地震により多くの方々  
が犠牲となられ、家屋の倒壊や生活の場を失うなどとして  
おり、被災されました皆様には心からお見舞いを申し上  
げます。

ネパールでは、憲法制定に伴って発生したガソリンやガ  
スを始めとする生活物資の長期間に亘る供給不足の問  
題は、ようやくトンネルを抜けたようですが、物価の高騰  
には拍車がかかったままの状況にあると言われています。

被災地では、いまだに避難生活を余儀なくされている  
皆さんも多く、特に農山村部では住居の再建もままなら  
ない中で、山野に建築資材や薪を求めて、これまで以上に  
立木が伐採されているところも見受けられます。

文化的な生活が及びつつあるネパールでの今回の問題  
が、自然と共存することの難しさを考えさせられる一場  
面とも言えましょうか。



▲カトマンズ市内に点在する避難住民のテント村



▲薪や木材の備蓄に女性も大活躍

### ◆学校では

一日も早い復興をとの支  
援者の皆さんの思いを持つ  
て、損壊の甚だしかった教  
室の再建、修復に努めてお  
り、バシフアント学校の三  
年生の教室やブライター学  
校のホールの耐震のための  
補修については概ね完了し  
ました。(三面参照)  
バシフアント学校につい  
ては、政府の予算が漸く措  
置されるようになってしま  
しましたが、地元父兄たちが望  
む状況ではないようです。  
予算確保には引き続き努力を  
要しています。また、カカ  
ニ・ブライター学校はジャ  
イチネパールの所管にある  
ことから、生徒の確保が大  
きな課題となっています  
が、五月現在の生徒数は二  
四二人で昨年同期の二七二  
人を下回っており、収入面  
からも厳しい運営が予想さ  
れています。これは、震災  
もさることながら周辺に学  
校が増えてきたことによ  
り、他の学校を選択する場

### ◆SLC試験の結果は

ネパールで卒業試験にあ  
たるSLC試験は三月に行  
われ、レカリ・バシフアント  
学校生は三五名、カカニ・  
ブライター学校生は九名が  
受験しました。昨年までの  
試験結果はトップ・1・2・  
3のレベルで合格が決定さ  
れましたが、今回、新たに  
A+・A・B+・B・D・Eなど  
のランクとして結果が出さ  
れ、それらのランクに応じ  
て進学を選択するシステ  
ムに変更されたことから、  
これまでのような落第とい  
うものは無くなったよう  
です。このシステムでは、D+  
までの成績のものは十一  
年生に入ることができ、そ  
れに満たない成績のものは、  
追試験でランクを上げるか  
専門学校などへの進学を選  
ぶこととなります。受験し  
た両学校の生徒のうち五名  
を除いてはD+以上の成績  
を修めることが出来まし  
た。

### ◆避難所にも

支援物資を届けました。  
バシフアント学校周辺で  
被災された皆さんの避難生  
活はまだ続いており、避難  
所から通学している生徒た  
ちもいます。ジャイチでは  
支援者からの義援金と毛糸  
の帽子を学校を通じて届け  
ていただきました。



▲避難所の代表の皆さん

### ◆理事会と評議員会

定例の理事会及び評議員  
会を三月と五月、六月に開  
催し、予算・決算の承認と  
理事の任期満了に伴う選任  
が行われました。選任後の  
理事会において、引き続き  
小林理事が理事長として選  
定されました。

### (理事)

- 小林 淳 長野県長和町
- 羽田健一郎 長野県長和町
- 堀 邦昌 長野県上田市
- 立岩 寿一 長野県長和町
- 島田 基正 長野県上田市
- 小林 弘 神奈川県大和市
- 丸山 敏和 長野県長和町

# ジャイチ ネパールから

## 着々と進む

### 学校整備

大地震による災害の発生から一年が経ちましたが、その間、日本の支援者の皆さんの援助を受けてバシファント学校の三年生の教室の再建工事は順調に行うことができました。

今回の地震ではネパールの多くの校舎はかなり倒壊しましたが、ジャイチが建てた二つの学校の校舎は、構造上からも被害が比較的



▲カカニ・ブライター学校での教材等の贈呈式

少なくても助かりました。再建工事中には、インド・ネパール国境問題で工

事費が高騰するなどの思わぬ障害がありました。ジャイチの後にもジャイチの支援のお陰で、カカニ・ブライター

学校のホールの修理工事も終わりに近づいています。

現在も、今まで度々起きた余震によって受けた教室の壁の亀裂やひび割れなどの修理に取り組んでいます。が、修理作業が完了するまでにはまだ相当の予算がかかると思われています。

ジャイチ事務局からも現場を訪問していただきました。ビム・ラル・グルン

## 就学支援も

また、この震災でほとんどの学校が経済的な問題に直面しました。ジャイチの学校においても、家が壊れて避難生活をしている保護

者たちが授業料を出すことが困難となったことから、

教員たちの給与の支払いに支障をきたす状況となり、

文房具も不足して授業にも影響が出ていました。このような問題を解決するため、ジャイチジャパンから

経済的な支援を受けることができ、二つの学校へ授業料の助成金と教材を届けました。ビム・ラル・グルン

## チルドレンネパールから コンピュータと 顕微鏡が贈られる

### 今年五月、チルドレン

ネパール（ボカラ）にあり、母子家庭などの低所得者を対象に母親の就労の場の確保と児童の就学を支援して

いる組織）から、レカリ・バシファント学校とカカニ・

ブライター学校にコンピュータと高級顕微鏡がそれぞれ一台ずつ寄贈されました。

贈呈式は五月三十一日にチルドレンネパールに関わっているジャイチネパールのアドバイザーであるビム・



▲両学校に目録を渡すグルン氏(中央)

ラル・グルン氏および当組織の副理事ラムチャンドラ・ポウデル氏とメンバー、両学校の校長が参加してジャイチネパールのカトマンズ事務所で行われました。

## 学校は平和な 場所にしましょう

今回の震災にともなう

ジャイチの支援を受けて、生徒たちに支給するために

ジャイチネパールが作成したノートの表紙には「平和で勉強できるのは子どもの権利」と記されています。

また、裏表紙には、学校へ通うことの必要性や保護者、生徒たちに守ってほしいことなどが書き込まれています。抜粋して紹介してみましよう。

\*保護者は子どもたちを学校に行かせましよう。  
\*貧しい家庭、特別に問題がある子どもたちにも、



▲支援により作成されたノート

学校に行くことができるよう協力しましょう。  
\*学校は、生徒たちが楽しく学べる環境にしましょう。  
\*学校の教育が生活に役立つようにしましょう。  
\*目上の人を尊敬し、年少者には優しくしましょう。  
\*季節に合わせた服装にしましょう。  
\*宿題は毎日するように、また、させるようにしましょう。  
\*言葉づかいは丁寧にしましょう。  
\*学校の施設は大切に守りましょう。  
\*髪の毛を染めたり耳飾りをしない。爪を伸ばしたりマニキュアをしない。  
\*禁止されている携帯電話、アイポット、ラジオなどを持ってこない。保護者も気をつけてもらいたい。  
\*鉛、ガム、インスタントラーメンや禁止された食べ物を持ってこないようにしましょう。



▲学校入口に設置された食堂

## キャンティーン現る

カカニ・ブライター学校の一角にキャンティーンなるものが設けられました。いわゆる学校内の売店・食堂といったもので、生徒たちがここでパンや飲み物など好みのものを買って昼食を取るができるようにしたものです。運営は地元の父兄の皆さんが行い、多少なりの賃料が学校にもたらされるよう考えています。

この新たな施設の登場に生徒たちも学校に来る楽しみが増えたようですが、ルールを守り、学業との兼ね合いをしっかりと管理していくって欲しいと思います。



# 盛大な水かけ祭



▲人で埋め尽くされたダルパール広場界限

カトマンズのホテルにて「きようは外に出ない方がいいよ」と言われたものの、バザー用品などの買物を最後の日程にしていたため、たいしたことは無いだろうとホテルを後に通りへ出ると、頭から顔、身体まで赤や黄色、青色にと様々に色づいた若者たちがゾロゾロ。今日は、だれかれ構わずに水を掛けあつて一日を楽

しく過ごしてもよい「水かけ祭」だという。通りもさることながら、ダルパール広場一帯まで足を延ばしたのだが、どこからこれだけ集まつて来たのか人々。大きな声を張り上げながら、行き交う者たち同士で容赦なく色の粉や水を投げかけ合い、すでに広場も絵の具のパレット状態である。

かと言って、小競り合いやケンカが起きるわけでもなく、陽気な声で埋め尽くされた広場を当方は我が身に色水が降りかからないこ

とに気を使いながら歩く。幸いにも飛び火を浴びることもなく過ぎたのだが、実は、最近は無礼講の祭とは言いがた、観光客など、来訪者への水かけは問題があるとして原則禁止になってきているとのこと、もし問題を起した場合は投獄の刑に処せられるため、その辺はわかまえてのことだったようである。そう言

えば、ある若者に「掛けてもいいか」と声を掛けられたが「ノー」と答えたら何もせずに通り過ぎて行った。そこへ行くと、若者たちと一緒に色を塗り合い祭を楽しんでいる欧米系の観光客の人たちの順応性？には、日本人との文化の違いを見る思いがした。もつとも、安物とはいえ衣服を汚したくないとの気持ちが大きく働いていたことも多分にあったのが本音だが。ところで、目的の買い物は出来たのかと言うと、一部の店舗を除いて通りに面した殆どの店は水かけのどばつちりを警戒してか、シャッターが降ろされていて、帰国してから「実は」と、言いわけせざるを得なかったのである。ちなみに、この祭、毎年3月下旬に行われる「ホーリー」とのことである。



▲注意を呼び掛けるポスター

## 甘い言葉に 気をつけて

災害や紛争などの発生に伴う治安の低下に便乗して、人身売買が横行する事例が発展途上国で多く発生していると言われます。生活を守るために我が子を身売りしてしまうケースや、言葉巧みに連れ去り、過酷な労働や風俗的な業界に斡旋するなど、人権尊重の面からも大きな問題となっています。ネパールでも訪れたナムター地区の避難所の入口で、このような事態を招かないよう注意を喚起するポスターが貼られています。以前にも、所々に色あせたこのような看板を目にすることがありました。以前はありましたが、今回の震災によって生活も大きく変わってしまったという状況でもあり、単なる貼り紙で終わってしまうことのないようにしたいものです。

# 発行本のご紹介

ज्याイチではネパールに 関した書籍を出したとの報告をいただくことがありますが、今回は、二冊をご紹介します。 定価 本体一、六〇〇円＋税 一三四ページ 連絡先 二六〇六八五〇二 京都市左京区北白川追分 京都大学理学部地鋳酒井治孝

## ☆「ネパールに 学校をつくる」

著者 酒井治孝氏 東海大学出版部発行

著者は青年海外協力隊員として一九八〇年から三年間、ネパールで地質学の講義と調査に携わり、任期を終えた後も三十年以上に亘ってネパールへの教育支援活動を続けており、校舎を建てる際には村人たちがジャイチの建設した学校を視察して参考にしたことな

▶紹介本



## ☆「世界の現実 日本の選択」

著者 神長善次氏 下野新聞社発行

著者は外交官として国内 外の大使館、また、大学客員教授などを勤め、その傍ら、二十五年に亘って新聞に掲載されたエッセー論文がまとめられています。ネパールへは二〇〇一年に着任し、日本とネパールとの友好に力を注いでこられました。めまぐるしく変化する世界情勢の中での日本のあり方、日本再生の道を探索する書となっています。 定価 本体一、八〇〇円＋税 四一二ページ

2015年12月21日〜2016年6月20日迄順不同敬称略

# ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

## ◆人的協力

〈東京都〉島田輝男、田山豊實

〈長野県〉白井千鶴子、柿島明子、金子仁乃、菊池健介、株式会社北澤土建、有限会社佐藤新聞店、田村由紀子、長野合同経理センター、根岸厚次・真貴子

〈海外〉ネパール ホテル サンセットビュール・アル ジュン・シン／絃子・トラチャン

## ◆寄附金

〈北海道〉小野倫夫、水口馨

〈岩手県〉笠原直枝

〈茨城県〉魚津慶子、折本拓郎、とんきゅう株式会社 矢田部武久、長谷川秀雄、藤井英雄

〈栃木県〉大橋秀充・啓子、森聖哉

〈群馬県〉斉藤孝夫、島田昌俊、橘眞智子、堀越利通、割田甚一

〈埼玉県〉斉藤節子  
〈千葉県〉高橋節子、竹部愛子、辺見益蔵、向井夏詩、武藤貴子、武藤やよ

い、横館久宣

〈東京都〉石田昭夫、上原真知子・一茂、大和田一 拡、小川金三郎、小川昌子、小野寺えり子、鎌倉恵子、鎌田はなよ、河野節子、黒田秀基、須藤節子、弁護士須田清、滝和美、土屋美智子・雅子、株式会社 トップ東京営業所、西岡巖、西重正博、野村明賢、



「宿題に精を出す」 絵 マン

二瓶幸子、藤本紀子、正田英子、松田重篤、山縣敏子

〈神奈川県〉小林みよ子、島田正義、田中光弘、羽佐間素子、堀内弘栄、松浦眞紀子、丸山進治・佳子、松田武彦、安延義弘

〈長野県〉井出守雄、内山富之、小笠沢浩一、金子元昭、菊池健介、北澤純一、小池文男、高木洋子、国際交流フェスティバル in 丸子、小林淳、小林展子、小林良子、小宮山正幸、斉藤一美、齊藤敏、澤山啓司、有限会社大和印刷、滝沢千栄子、司法書士竹内克彦、武田順治、土屋信子、株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、箱山年子、増田シゲミ、松久よし子、松林進、宮澤令行、宮下静子、山越好彦、ジャイチ事務所

寄附金箱

〈新潟県〉小森修

〈福井県〉金森朗子

〈静岡県〉伊熊武夫、山梨加代子

〈愛知県〉伊藤正裕、後藤多恵子、藤井久生、本田忠彦、村瀬政子、安田美奈子

〈滋賀県〉岡田千尋、シャール水ヶ浜玉田盛二、竹内正憲、西村敏、松延宏昭

〈兵庫県〉新海泉  
〈大分県〉寺澤侃  
〈熊本県〉藤坂比呂美

## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

### ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。

その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れいたします。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

### 所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

- ①所得控除  
その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。
  - ②税額控除  
その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。  
(例 10,000円の寄附の場合 所得税が3,200円戻ります。)
- 上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。  
(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

### 郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
  - ◎郵便振替 00510-4-65434
  - ◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
  - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

## ◆寄付品

〈北海道〉河田三千子、中川洋子

〈茨城県〉魚津慶子

〈群馬県〉島田寛治、橘眞智子、藤井定子、松原敏明・啓子

〈埼玉県〉高橋和子

〈千葉県〉神田實  
〈東京都〉池ヶ谷静枝、池田照子、小川昌子、鎌倉恵子、小池敏雄、佐瀬萬亀、滝和美、野村建設工業株式会社営業課、ネパールの子ども達に文具を届ける会小

山恵美子、橋上可和子、松島長久

〈神奈川県〉川口あき子、小林みよ子、堀内フサ子

〈長野県〉白井千鶴子、柿島明子、加藤美幸、菊池健介・道子、清住栄子、斎藤一美、大門郵便局、有限会社大和印刷、武石郵便局、滝沢英子、田村由紀子、土屋興亜、豊田祐一、内藤喜美子、長門小学校、長門小学校子育て委員会、株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、樋口種苗、福澤貴美恵、舟木公栄、堀邦昌、松

〈愛知県〉後藤多恵子・康洋

〈京都府〉京都山科西野郵便局

〈兵庫県〉丸尾信

〈広島県〉土佐末実慧  
〈佐賀県〉平尾紀美子  
〈熊本県〉藤坂比呂美  
〈鹿児島県〉小田原孝之  
〈ネパールへ直接〉大槻七美、島田輝男

本筑摩東郵便局、矢嶋榮子、山口清美

〈福井県〉金森朗子

〈岐阜県〉山本佳子



# ネパール農業報告

佐久市 土屋 興亜

▶カカニ地区でイチゴ農家の皆さんと指導会



▶カカニ地区で始まったビニールハウスによるイチゴ栽培



### ◇はじめに

これまで十年余、農業指導に赴いたネパールの農業関係のその後の動向に加えて、昨年の大地震で現地がどのような状況であったのかと日頃から心配をしておりました折、今年の三月に訪問の機会をいただくことができました。

平成二十四年六月の訪問以来三年九カ月ぶりでしたが、ヌワコット郡、マクワンプル郡ともに大歓迎を受け、まったく想定外の驚きでした。いろいろの話しの中で分かったことですが、ジャイ

チの二十余年にわたる継続した農業指導、支援が現地

の皆さんに深く感謝されていたということですが、私も感じていたことですが、ネパール国内では各種機関、団体などによる支援活動が数多く行われているものの、単発的で継続性の無いものが少なからずあることは事実です。

### ◇ヌワコット郡

カカニ峠付近のイチゴ栽培についても、ある園芸大のイチゴ専門家の指導が一回のみで、また、ある国際機関のネパール農業開発計画でのイチゴの取り組み

も継続性に欠けているようです。

当ジャイチの取り組みは、二十余年にわたり農民に寄り添った取り組みがなされており、そのことを現地の皆さんが高く評価してくれているということでした。

「継続は力なり」を感じました。

一点、今回の訪問で「甘くなくなった、果実が小さくなった」とのカカニのイチゴの評価の声が聞かれました。イチゴはウィルス病に弱く、四十年近く前からウィルスフリー苗の利用が実用化している品目です。

日本では、三年から四年ごとに種苗を更新する品目と位置づけられています。ネパールでも同じ取り組みをしていましたが、ここ四年ほど種苗更新がされていないことから、このような状況が出てきているものと見えます。ジャイチとして、種苗更新の支援を継続していただければと思います。

### ◇マクワンプル郡

レカリ・バシファント学校の標高千五百メートルから二千六百メートル地帯は、キャベツ、カリフラワー、大根などのアブラナ科野菜の大産地ですが、アブラナ科野菜特有の難病害

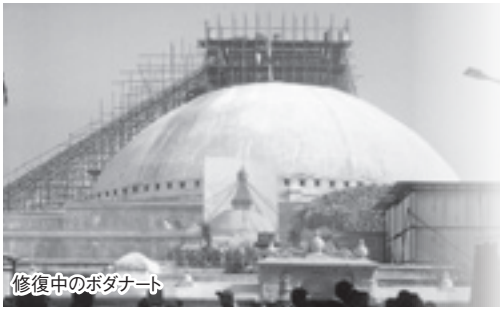


▲アゴルの農民の皆さんから感謝状が贈呈される

### ◇共通事項

ネパールの重要野菜である大根ですが、四十から五十年前に日本の協力隊員が持ちこんだ「美濃早生大根」が長い間主流でした。日本では青首系の総太り大根に変っており転換を進めています。徐々によい動きが出てきているようですが、今後に期待したいと思っております。また、ジャガイモは、男爵、キタアカリ、アンデスなどの品種を日本から導入しましたが、好評のようです。その他、いろいろの野菜種子を提供したことや栽培技術指導などについて感謝されました。今後もネパール農業の振興のためにできることは協力していこうと思っております。

平成27年度 事業決算報告	
科目	
<b>I 事業活動収支の部</b>	
1. 事業活動収入	
基本財産運用益	4,035,177
特定資産運用益	432,411
受取寄附金	7,415,752
雑収益	1,833
2. 事業活動支出	
開発途上国への農業技術の向上と普及、農業・学校団体への助成・支援及び農業・教育の啓発事業	10,232,288
3. 管理費支出	1,151,123
事業活動収支差額	501,762
<b>II 投資活動収支の部</b>	
1. 投資活動収入	
投資活動収入	50,000,000
2. 投資活動支出	
投資活動支出	50,000,000
投資活動収支差額	0
当期収支差額	501,762
前期繰越収支差額	4,860,982
次期繰越収支差額	5,362,744



修復中のボダナート



雄大なヒマラヤ

# 今年のジャイチツアー 第20回 JAITIツアー 参加者募集

昨年はネパールを襲った大震災とその後の燃料事情の悪化を受けて、ジャイチツアーの実施を見送り、希望されていた皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、現地も落ち着きを取り戻してまいりましたので、今年はずアールを計画いたします。

今回は、これまでの募集で「日程がもう少し短ければ参加できるのに」などの声が聞かれておりますことから、ジャイチの活動地はもちろん、カトマンズ、ポカラの二大都市と震災の後の様子を中心に、日数をコンパクトにした旅を企画しました。

この機会に少しでも時間を作っていたいただき、ネパールの文化に触れてみてはいかがでしょう。皆さんのご参加をお待ちしています。

### ◆実施日

平成二十八年十一月一日(水)～八日(水) 六泊八日

### ◆旅程

- 【一日目】 羽田→香港→カトマンズ
- 【二日目】 レカリ・バシファント学校訪問
- 【三日目】 学校→カトマンズ市内観光
- 【四日目】 カトマンズ→ポカラ観光

## 事務局だより

### ▼ジャイチ

- 1月 ・機関紙50号の作業と発送
- 2月 ・平成28年度事業計画・予算案の作成
- 3月 ・常務理事・土屋農業指導員がネパールへ総合指導及び農業指導  
・理事会開催(事業計画・収支予算等の承認、職務執行状況報告)  
・内閣府へ平成28年度の事業計画書等を提出
- 4月 ・決算準備  
・上田市に法人税の減免申請書を提出、6月10日承認
- 5月 ・平成27年度決算監査実施  
・国際交流フェスin丸子に出席  
・理事会開催(平成27年度事業報告・決算等の承認、職務執行状況報告)
- 6月 ・定時評議員会開催(平成27年度事業報告・決算の承認、理事の選任)  
・理事会開催(代表理事及び常務理事の選任)  
・長野法務局へ理事の登記  
・内閣府へ平成27年度事業報告書等を提出  
・機関紙51号企画

### バザーのお知らせ

9/4(日) あいとびあ白田(佐久市)

### ジャイチネパール▼

- 1月 ・冬休みに入る・3学期試験  
・ライター学校水道・トイレ・ドア・塀の修理  
・血液型の健康診断プログラム実施
- 2月 ・SLC受験の準備  
・ライター学校バタンヘビクニック  
・停電1週間で96時間
- 3月 ・学年末の最終試験  
・ライター学校ホール改修工事開始  
・SLC試験レカリ・バシファント学校35名、ライター学校10名の生徒受験
- 4月 ・レカリ学校内に学習センターフロア(仮設)建設  
・モンテソリ研修センター教師30名、学校訪問
- 5月 ・ライター学校屋内破損部分の修理・スクールバスの修理  
・レカリ学校の周りをバーブワイヤで囲う
- 6月 ・SLC試験 バシファント学校・ライター学校全員合格  
・バシファント学校政府の予算で地震破損箇所修理

### 【五日目】

ポカラ(ミニトレッキング)→カトマンズ

### 【六日目】

マウンテンフライト(エベレスト眺望)カカニライター学校訪問

### 【七日目】

カトマンズ市内観光→香港

### 【八日目】

香港→成田

### ◆旅行代金

お一人様 三十万円

全行程中の交通費(航空機はエコノミークラス)、宿泊、食事代を含みます。但し日本国内の交通費と海外旅行保険は別途になります。

### ◆申し込み期限

八月三十一日(水)

### ◆問い合わせ・申し込み方法

電話、ファックスにて左記にお問い合わせください。募集要項、申込書をお送りいたします。

### 企画 ジャイチ事務局

長野県上田市武石沖六〇五十五

TEL〇二六八八五三三六四五

FAX〇二六八八五三三六五三

### 主催 (株)西遊旅行

東京都千代田区神田神保町二二三

観光庁長官登録旅行業第六〇七号日本旅行業正会員

TEL〇三二三三三七八三八四

FAX〇三二三三三七一〇六三八

### 物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。  
菅原 理様 宮城県富谷町 十五年七月

### お願い

ネパールへのジャイチの荷物運搬(主に学校の布カバン・文房具等)のお手伝いをしてくださる方は非ご連絡下さい。

### 集めています

書き損じハガキ	切手に替えます ▶通信費として活用します 未使用ハガキ・年賀ハガキの余りも歓迎 前回は25,155円分の切手と交換できました。
文房具	定規・鉛筆など ▶学校生徒用
毛糸	帽子を編みます ▶レカリ・バシファント学校1・2年生用 編みぐるみ・タワシなどのバザー用品をつくります
布	はぎれ ▶バザー用品をつくります
古切手	換金します(未使用切手も歓迎) ▶ネパールの学校の運営費(切手の周りを5ミリ残してください)
日本手拭・タオル	未使用のもの ▶ネパールの学校用ほか

### 編集後記

梅雨が明けると暑い夏が訪れるのが日本の四季ですが、ネパールは今が雨季の真っ最中。バシファント学校のあるシンバンジャン地区では雨や霧が立ち込める日が続き、日中の気温も上がらずジャンパーやセーターが手放せないほどですが、足もととはとうとうと、素足にゴム草履かサンダル。夏の作業もこのスタイル。真冬でも、靴下を履いている姿をあまり見かけません。素足は健康に良いと力説する者あれば、身体は冷やさない方がいいと言うもの有り。果たして判定やいかに…  
文明に慣らされた私は部屋の中でも靴下履きなのだが云々